



けやき会通信



ごあいさつに代えて

薬剤部 齋藤友紀

櫛会の皆様こんにちは。栗山から櫛会を引き継いだ齋藤です。

つい先日、皇后雅子様が愛子様と蚕のお世話をするニュースを見て驚きました。

明治以降、歴代皇后様が引き継いできた伝統行事なのだそうです。

私の生まれ故郷、群馬県桐生市は上毛かるたで「桐生は日本の機（はた）どころ」と詠まれるほど千年以上も養蚕、織物文化が続いてきた街です。

小学生の頃は、友人が養蚕業について自由研究をしていたり、下校時に桑の実を食べたりしたこともあったので私にとっては懐かしい思い出と共に、皇室の方々が大切にしてくださっている事に喜びを感じました。

今は、減少が続く国産シルクを守ろうと様々なプロジェクトが立ち上がっているようで、その中で桑園を開墾する記事を見ました。

蚕が食べるものは？と言えば「桑の葉」とご存知の方は多いのではないのでしょうか？

桑葉は全薬工業さんのホームページを見ると血糖値を抑制する効果について研究されていると分かります。ミネラルや食物繊維も豊富で桑葉製品は広く市販されています。

どのような仕組みで血糖値に影響しているのでしょうか？

桑葉に含まれる「1-デオキシノジリマイシン（DNJ）」はブドウ糖（グルコース）と似た構造をしていて糖質の吸収をブロック、食後の血糖値の上りを緩やかにしてくれる、ということのようです。私も「群馬愛」からこの桑茶を飲んでいますが、抹茶に似た風味で気に入っています。群馬に足を運ぶ機会がございましたら、皆様も飲んでみてください。

櫛会の皆様は、先生の指示通り、お薬やインスリンを使用させていただくことで 元気と健康は維持されると考えます。

皆様と一緒に「楽しく」関わることができたらと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

